

広報ひがしの

No174

令和3年

2021.8.1

人口1661人

(男)840人

(女)821人

世帯数

629世帯

(R3.7.1現在)

シーズン到来



川でも 飯沼川を通じて郷土愛を育てる会



田でも



山でも 公務員OB会

自然豊かな郷土・東野。その景観は住民の皆さんの努力によって守られていま
す。毎年、春先から秋にかけて里のあちこちから草刈り機の音が聞こえてきま
す。これも年中行事の一つで環境を守る大切なことです。
今年もシーズン到来です。

災害の季節です！万全の準備を・・・

私たちの郷土・東野は阿木川と飯沼川、そして定蓮寺川の恵みを受けて発展してきました。川があったおかげで、稲作が盛んになり、村ができ、文化が育ちました。

しかも、東野は、山々からの肥沃な土が流れ出る扇状地であることから、おいしいコメが取れることで有名です。実際、飛鳥時代には、この近くから朝廷へ次米を献上した記録があります。

しかし、恵みを受ける一方で、川がひとたび牙をむくと大変なことになります。これまでに、何度となく阿木川、飯沼川、定蓮寺川が氾濫し、大きな被害を受けてきました。

安全で豊かな生活を築くには、川との戦いを続けていかななくてはなりません。

災害との戦い

東野の川は、むかしからたびたび氾濫していました。

飯沼川は昭和36年の大水の時まではへびのように曲がりくねった川で、大水が出るたびに川の流れが変わるほどでした。その災害の後、今のように飯沼川の下流をまっすぐにする工事が進められ、さらに川底をコンクリートで固めたり、ところどころに堰堤をつくって砂が流れないようにしました。

阿木川も伊勢湾台風があった翌年から少しずつ工事が進められ、堤防づくりや、堰堤づくりが行われました。橋も、上橋戸橋（昭和

西暦	元号	災害
1772年	天明2年	この年から7年間、夏は雨天続きで大洪水。
1925年	大正14年	大洪水、向島橋、下橋戸橋、せんこし以外のぜきはすべて流されてしまう。
1951年	昭和26年	飯沼川の大洪水。橋が流されやまくずれ
1959年	昭和34年	伊勢湾台風
1961年	昭和36年	飯沼川の大洪水 災害救助法が発令される 天王前に土砂が流れ込む

37年）、やした橋（昭和37年）、ハイカラ橋（昭和35年）と次々に永久橋（コンクリート橋）に作り替えられました。

わたしたちの祖先がこの土地に住み着いた時から、飯沼川と阿木川を相手に戦ってきました。地球温暖化のせいか災害の規模も昔と比べて大きくなりました。今後ますます備えが大切になってきます。

（私たちの郷土～東野の昔と今～）より



井林（先人の備え）

みなさん、「井林」を知っていますか。

東野は、昔から水害が多かったことで、明治のはじめには、なかまの山の一部を「井林」と決めて堤防などをなおす材料をとる場所としました。

災害を防ぐことはなかなかむづかしいことです。それだけに災害からいかに復旧するかが大切です。

「井林」とはその災害から復旧するための備えであり、知恵でもありました。東野には、阿木川と飯沼川の二つの大きな川があります。それに「井林」がありました。

（場所）

阿木川は、ダムの下の本用水の取り入れ口の上あたり一帯。

飯沼川は、浜井場の松の木墓地の向かいの山の一部分。

現在は行政の力で復旧を助けてくれますが、昔はほとんど自力での復旧でした。そのため、「井林」は、大切な備えであり、災害からの早期の復活を願う先人の頼みでもあったのです。

東野の古代年譜

東山道と東野

歴史で地域を強くする

年	時代	国のできごと	郷土のできごと
1000	縄文		
紀元前	↓ 弥生	稲作が始まる 金属器の使用が始まる	○大野吾遺跡 ○染戸遺跡
紀元後			
100	↓	各地に小さな国ができる	
200	古墳		
300		大和政権の全国統一が進む	
400			○大野吾遺跡
500			○大野吾遺跡
600	飛鳥 ↓	聖徳太子が摂政となる 大化の改新	○市内の多くの古墳がつうられる ○次米が贈られる
700	↓ 奈良 ↓		○中の島遺跡 ○正家廃寺建築 ○東山道バイパス 「吉蘇路」開通
800	↓ 平安		
900			○正家廃寺消失
1000	↓		

大和朝廷が国家を統一する時期、都と地方はいくつかの幹線道路で結ばれていました。その一つが東山道です。沿線には30里（約16キロメートル）の間隔で駅家（宿場）が設けられ、各駅家には「駅馬」をそなえ、人や物資の移動、運搬にあてていました。

駅家は、四面が築地で囲まれ、正面には門があったそうです。内部には、倉庫・宿泊施設・馬屋・事務所などあったと思われます。

美濃国の東山道には、8つの駅家があったとされています。恵奈郡には大井駅、坂本駅があったとされていますが、現在のどの場所が駅家の場所にあたるかははっきりわかっていません。

ただ、古代の交通路と関係がある遺物が採取される場所をつなぐとおおよその道筋が分かってきます。その遺物というのは、鏡、玉、剣などの形をした石製品です。瑞浪市の土岐町の「高屋遺跡」、瑞浪市釜戸町の「公文垣内遺跡」、三郷町の「下田中遺跡」、長島町の「祖理見遺跡」、**東野の「若宮遺跡」「中の島遺跡」**、中津川市の「落合五郎遺跡」などからそれらの石製品がまとまって採集されています。これらの遺跡をつなげていくと、東山道は、現在の瑞浪市土岐町、釜戸町から恵奈に入り、現在の三郷町佐々良木を通り、長島町の永田、正家、そして東野を経て、中津川の坂本通じ、手賀野から落合を経て、神坂峠を超え阿智（現在の長野県阿智村）へとつながっていたものと考えられています。

東野に駅家があった手掛かりがもう一つあります。それは、「**大門**」という地名です。この地名は現在の自治会の名前にも遺っています。

「大門」というと、「大きな門」を連想しますが、この地名から昔のこの地には大きな門をもつ施設が存在したことが想像できます。実際、駅家には門があったということです。確かに東野に駅家が存在した手掛かりとしてもよいと思われます。



中の島遺跡

東野の遺跡～恵那市遺跡詳細分布調査報告書より～

歴史で地域を強くする

恵那市には多くの古墳跡が残されていて、これまでに二百近くの古墳が確認されております。多くは古墳群を作っており一か所に数個ずつ集まったものがほとんどです。市内でも、長島地区に集中しており、永田川や千田川の周辺に点在しています。古墳は川に近いところの小高い所にあるという共通性があります。川があるところに田畑を作り、そこに集落ができ、その近くに古墳ができるということだと思えます。そう考えると東野には阿木川や飯沼川、定蓮寺川があるので、古墳跡があってもよいと思いますが、東野では古墳という話をあまり聞いたことがありません。

ところがこの度、恵那市教育委員会より「恵那市遺跡詳細分布調査報告書」が出され、それによると、東野にも北山地区に古墳群があったと記されております。また、「東野北山古墳」と称する古墳跡が現存することが地図に記されております。現地確認に行きましたが確認できませんでした。

古墳跡の存在により、東野にも稲作集落があり、有力者が存在したことが分かります。



先人から学ぶ

先人の思いを・・・

東野コミュニティセンターの1階ロビーに、ガラスケースの中に入った2階建ての木造の建物が展示してあります。下に取り付けられた説明書きには、次のように書かれています。



東野青年会館（戦後は東野公民館）

篠原三千郎氏のご寄付により建てられた青年会館でした。新公民館建設のため取り壊しが決まりました。しかし、その歴史的な意義から保存を望む声もありました。こうした声を受け、精巧な模型が作られ、コミュニティセンターに展示されていました。改修を機に多くの方にご覧いただけるよう、1階に移動しました。

メッセージ

篠原氏は東野青年会館を寄贈することを通して、「人づくりこそ肝要」という熱きメッセージを贈ってくださいました。そして、その拠点として青年会館を使いなさいと趣意書に付け加えられていました。

東野青年会館設立の趣意書

一国の興廃も一村の繁栄も一家の盛衰も其の懸かる処は人にあり。人を造るの急務なるは各方面等しく認るなるも、明日の時代を双肩に負うべき青年の指導教養こそ、就中大切なるは亦何人も異議なき所なるべし。然るに我が東野村に於いては、其の青年指導の中心となるべき施設なく、或いは近く青年学校が設置せらるるが如きも、斯くの如き施設を以て万事解決せりと見るが如きは蓋し早計にして、之と併行して或いは其の延長として、青年のみならずその延長として壮年期に達したる人達に対しても、常に修養の道場を設け修養の機会を得せしめ、相互研磨して人格の向上を期する要あるは言を俟たず。本館は以上の目的達成の為、建設せんとする。



当時の東野青年会館



現在の東野コミュニティセンター

地域の話題

今年も見事に咲きました

東野こども園の玄関近くに立派なヒトツバタコ
の樹があります。今年も見事な姿を見せてく
れました。園長先生は、「この時期は毎日二・三人の方が
写真を撮りにみえます。」と話してみえました。ヒ
トツバタコは、ごく一部の地域だけしか生き残って
いない貴重な樹木です。

大切にしていきたいものです。



東野こども園に咲くヒトツバタコ

東野地域学校協働活動

この協働活動は、地域と学校が連携・協働した教育活動を行
い、教育活動の充実と地域づくりをめざすものです。この活動

の要となるの
が、推進員で
す。推進員は、
学校の教育二
ーズに対して、地
域の力を掘り起
こし、教育活動
へとつなげていく人です。

初代推進員には、丸山文恵さんが選出されました。丸山さんは常
に学校に寄り添い、学校の支援をしてみえます。



4年 田植え



1年 竹細工 竹トンボ作り

東野地域安全パトロール（8・9月）

金曜日16:00~17:00

8月

27日 東野開発振興会

8月は夏休みのため
パトロールは1回の
みです。

9月

3日 東野自治連合会（上）

10日 東野自治連合会（下）

17日 東野小学校PTA

24日 恵那東中学校PTA

文芸

花無山句会自選句

（令和三年六月十八日）

- ・ 貝たくさん酢飯を包む朴若葉 市川 芳子
- ・ 開け放つ風の通るや夏座敷 内木伊都子
- ・ 香り佳し新茶喫するほろ苦し 千藤 猛司
- ・ 風鈴を吊るせば風が待っており 千藤 恵三

東野こども園（六月二十四日）

年長さんが茶道の勉強を始めま
した。講師に下浜井場の伊藤淑子
さんをお迎えし、コミュニケーション
ンターの二階の和室で体験学習を
しました。まずは、礼儀作法を
しっかり学びました。



床の間にあいさつ



大門信号付近（7月2日）

東雲会の恒例の行事である花壇づくりが6月5日に実施されました。いつもは、花壇づくりの前に振興事務所に集合して、高齢者交通安全講習を受けてからの作業になりますが、新型コロナウイルスの感染防止のため、安全講習は中止となり、花壇づくりの作業のみとなりました。

東雲会花壇作り

花壇は、浜井場の万場堤の降り口と、東野の信号のある交差点と大門の信号付近の3ヶ



浜井場の花壇（6月5日）

所にあり、3つのグループに分かれて現地集合で作業をしました。昨年の秋に植えた花を取り除き、新しい花を植えました。

花は、マリーゴールド（黄色、オレンジ）、ペゴニア（赤、ピンク、ホワイト）です。満開が楽しみです。



こども園・小学校資源回収

五月三十日、良い天気恵まれ、東野こども園、小学校の資源回収が実施されました。朝七時半過ぎから次々と地域の資源が搬入されました。

今回の資源回収は、資源ごみ回収コンテナ（デポ）が設置されて初めてのものでした。回収量の減少が心配されていましたが、いつもとほとんど変わりがありませんでした。皆様のご協力に感謝いたします。

量はともかく、みんな揃って汗をかくことに意義があると実感しました。

ありがとうございました

中の島の遠藤龍美さんより杖をご寄贈いただきました。この杖は自立式で、使わないときは倒すことなくどこでも立てておけて便利です。また、中ほどに持ち手があり、立ち上がる時にとても助かります。

遠藤さんには昨年も2本杖をご寄贈いただきました。今回のものと合わせますと4本になります。重ね重ねありがとうございます。



寄付していただいた杖

東野を応援してください！！

～ふるさと納税～

市外、県外にお住まいの方々に、わがふるさと「東野」の応援をお願いしてください。いただいた寄付金は東野のまちづくりに活用されます。応援寄付金は「ふるさとチョイス」でのお申込みが便利です。

商品は「ふるさとチョイス」ホームページからお申込みいただけます。

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/21210>



恵那市 ふるさとチョイス 検索





乳幼児学級 すくすく クラブ

すくすくクラブでは学級生を募集しています。「参加したいな!」と思われる方は、コミュニティセンターまでお問合せください



6/24(木)「消防署見学」へ行ってきました。救急救命のお話を人形を使って実技を交えながら学びました。また緊急指令室を見学させてもらい、現場の緊迫感を目の当たりにしました。そのあと火災時の煙体験、地震体験、消防車等の見学、説明等盛りだくさんの内容でした。とても興味深く参考になる事ばかりでした。今後の子育てに役立てていきたいですね。消防署の皆さんありがとうございました。



コミセン 花壇



マリーゴールドとペゴニア

発行

東野コミュニティセンター ☎二六―二五五五
東野地域自治区運営協議会 ☎二六―二二四四



菊も2株植えました



つれづれに・・・

今年の春はタイミングよく適度に雨が降ったおかげで瑞々しい緑の新芽が伸びました。反面、少々日照不足で、特に葉物野菜などは生育不足気味なのが気になっています。

コロナも少しずつ下火になってきましたが、まだまだ安心できません。

今年も東野夏祭りが中止となりました。早く通常の日々が戻るのを願うばかりです。

コミセン花壇日記

(五月二十二日)

東野コミュニティセンターの事務室前にゴーヤの苗を植えました。真夏には緑のカーテンができ、少しでも室内が涼しくなることを願っています。

ゴーヤのほかに、ミニキュウリ、カボチャも植えてあります。

(六月二十四日)

約一か月たちました。すいぶん大きくなりました。ミニキュウリは、すでに二本収穫できました。ナスの収穫も間近かです。

(七月五日)

事務室からゴーヤとかぼちゃの蔓が見えるほど成長しました。もう少しで緑のカーテンが出来上がります。